

所長挨拶



(独)水産総合研究センター中央水産研究所は、水産物の安定供給の確保や水産業の健全な発展に貢献するため、遺伝子研究のようなマイクロな世界から地球規模の海洋研究のようなマクロの世界まで極めて広範囲な研究分野を受け持っています。当研究所で得られた成果は学術雑誌に論文として発表するとともに、学術講演会やシンポジウムを通じて公表しております。しかし、学術誌等による成果発表に努力することは研究機関として当然の責務ですが、研究内容や結果を広く一般の方々に説明する責任もまた同時に問われているところです。

中央水産研究所では、所の運営方針として「情報発信の強化」を掲げ、ホームページの充実や各庁舎における一般公開を始め、パネルの展示や解説資料の配付等、積極的に取り組んでいるところです。「研究の動き」は職員の主要な研究課題について、目的、方法、結果と解析、波及効果を1ページ内に取りまとめて、一見して即座に理解していただくことを目指して作られた研究開発の成果集です。今回お届けする「研究のうごき」は平成15年の創刊以来、今号で第8号となります。

読者の皆様方が本冊子によって当研究所の研究開発活動に対して一層のご理解をいただければこれに勝る喜びはありません。記述に際しては「簡潔に分かり易く」を心懸けておりますが、さらに工夫を重ね、一層分かり易い冊子としていく所存でありますので、ご指導・ご鞭撻のほど宜しく願い申し上げます。

平成22年10月
所長 福田雅明